* MFPクライアント
  + アクター：ユーザ、MFPサーバ
* コマンドを入力する
  + 開始条件

ユーザがMFPクライアントアプリを起動する

* + メインフロー
    1. MFPクライアントは入力可能なコマンドリストを表示する
    2. ユーザはコマンドを入力する
    3. MFPクライアントはコマンドが有効であることを確認する
    4. MFPクライアントはコマンドがジョブの実行要求であることを確認する
    5. UC「ジョブの実行を要求する」を呼ぶ
    6. メインフロー1に戻る
  + 代替フロー

Alt.1 ジョブキャンセルのコマンドが入力された場合

1. MFPクライアントはコマンドがジョブのキャンセル要求であることを確認する
2. UC「ジョブのキャンセルを要求する」を呼ぶ
3. メインフロー1に戻る
   * 例外フロー

Ex.1 無効なコマンドが入力された場合

1. MFPクライアントはコマンドが無効であることを確認する
2. MFPクライアントはコマンドが無効である旨を表示する
3. メインフロー1に戻る

* ジョブの実行を要求する
  + 開始条件

ユーザがMFPクライアントに対してジョブ実行コマンドを入力する

* + メインフロー

1. MFPクライアントはユーザに対して、ジョブ種を入力する旨を表示する
2. ユーザはMFPクライアントで実行したいジョブ種を入力する
3. MFPクライアントは実行したいジョブ種が有効であることを確認する
4. MFPクライアントはジョブ種がプリントであることを確認する
5. MFPクライアントはUC「プリントジョブの実行を要求する」を呼ぶ
6. UCを終了する

* 代替フロー

Alt-1. ユーザがジョブ種にスキャンを入力した場合

1. MFPクライアントはジョブ種がスキャンであることを確認する
2. MFPクライアントはUC「スキャンジョブの実行を要求する」を呼ぶ
3. UCを終了する

* 例外フロー

Ex-1. ユーザが無効なジョブ種を入力した場合

1. MFPクライアントはジョブ種が無効であることを確認する
2. MFPクライアントはユーザに対して、無効なジョブ種が入力された旨を表示する
3. メインフロー１に戻る

* プリントジョブの実行を要求する
  + 開始条件

UC「ジョブの実行を要求する」が本UCを呼び出す

* + メインフロー
    1. MFPクライアントはMFPサーバに対して、プリント可能なリストを要求する
    2. MFPサーバはMFPクライアントに対して、プリント可能なリストを返却する
    3. MFPクライアントは取得したプリント可能なリストが空でないことを確認する
    4. MFPクライアントは取得したプリント可能なリストとプリントする対象の文書IDの入力を要求する旨を表示する
    5. ユーザはプリントする対象の文書IDを入力する
    6. MFPクライアントはMFPサーバに対して、入力された文書IDのプリントを要求する
    7. MFPサーバはMFPクライアントに対して、要求された文書IDのプリントを実行する
    8. MFPサーバはMFPクライアントに対して、ジョブの実行結果を返却する
    9. MFPクライアントはMFPサーバからのジョブの実行結果を表示する
    10. UCを終了する
  + 代替フロー
  + 例外フロー

Ex.1 ユーザが無効な文書IDを入力した場合

* 1. MFPサーバはMFPクライアントに対して、無効な文書IDが要求された通知を行う
  2. MFPクライアントはMFPサーバから無効な文書IDが要求された通知を受け取る
  3. MFPクライアントはユーザに対して、無効な文書IDが入力された旨を表示する
  4. メインフロー1に戻る

Ex.2 プリント可能なリストが空の場合

* 1. MFPクライアントは取得したプリント可能なリストが空であることを確認する
  2. MFPクライアントはプリント可能な文書がない旨を表示する
  3. UCを終了する
* スキャンジョブの実行を要求する
  + 開始条件

UC「ジョブの実行を要求する」が本UCを呼び出す

* + メインフロー

1. MFPクライアントはユーザに対して、スキャンする原稿枚数の入力を要求する旨を表示する
2. ユーザはスキャンする原稿枚数を入力する
3. MFPクライアントは原稿枚数で有効であることを確認する
4. MFPクライアントはMFPサーバに対してスキャンする原稿枚数を通知する
5. MFPクライアントはMFPサーバからのジョブの実行結果を表示する
6. UCを終了する

* 代替フロー
* 例外フロー

Ex.1 ユーザが無効な原稿枚数を入力した場合

* 1. MFPクライアントはユーザに対して、入力した原稿枚数が無効である旨を表示する
  2. メインフロー1に戻る
* ジョブのキャンセルを要求する
  + 開始条件

ユーザがMFPクライアントに対してジョブキャンセルコマンドを入力する

* + メインフロー
    1. MFPクライアントはMFPサーバに対してキャンセル可能なジョブリストを要求する
    2. MFPサーバはMFPクライアントに対してキャンセル可能なジョブリストを返却する
    3. MFPクライアントはMFPサーバからキャンセル可能なジョブリストを取得する
    4. MFPクライアントはキャンセル可能なジョブリストが空でないことを確認する
    5. MFPクライアントはユーザに対してキャンセルするジョブIDを入力する旨を表示する
    6. ユーザはキャンセルするジョブIDを入力する
    7. MFPクライアントはMFPサーバに対して入力されたジョブIDでジョブのキャンセルを要求する
    8. MFPクライアントはMFPサーバからのジョブのキャンセル結果を表示する
    9. UCを終了する
  + 代替フロー
  + 例外フロー

Ex.1 キャンセルするジョブがない場合

* + 1. MFPクライアントはキャンセル可能なジョブリストが空であることを確認する
    2. MFPクライアントはキャンセル可能なジョブがない旨を表示する
    3. UCを終了する